

科目名:各種簿記	講義	担当教員名: 半田弥生	実務経験 無
2年次 5期	30時間	必修	
授業の到達、目標及びテーマ これまで、複式簿記の入り口となる販売業における『商業簿記』、製造業における『工業簿記』を学んできたが実際には業態に合わせた簿記が多数ある。そのうち建設業での需要がある『建設業経理士』試験、NPO法人等での需要が見込まれる公益法人会計の特徴について学ぶ。			
授業の概要 <ul style="list-style-type: none"> ・ 建設業経理に関しては、工業簿記との相違点を確認する。のちに公共工事の入札可否の判断資料である経営事項審査の評価対象となる『建設業経理士』試験の案内と傾向と対策にも学習する。 ・ 公益法人会計については具体的にどのような業態で使われるのか、財務諸表上の大きな違いについて気付かせる。 			
授業計画			
1	建設業経理の特徴(受注生産・個別原価計算・部門別原価計算が多い、外注費が多い)		
2	建設業における勘定科目の特徴、仕訳		
3	問題演習		
4	建設業における原価の特徴、工事間接費の予定配賦		
5	問題演習		
6	建設業における部門別計算		
7	問題演習		
8	建設業における完成工事原価・工事収益の計算		
9	問題演習		
10	建設業における決算		
11	問題演習		
12	総合問題		
13	公益法人会計の特徴		
14	まとめ		
15	定期試験		
テキスト レジュメ			
使用教具・参考書等 一般財団法人建設業振興基金 『建設業経理士』2級試験の過去問題			
評価の方法と基準 定期試験時にペーパーテスト(100点中60点以上合格) 受講態度と小テスト、課題提出を加味する			